

〈これまでの取組と生徒の実態〉

中学校

- ・基礎的・基本的な言語能力(文法、語彙)の定着や習熟を大切にしながら、より実践的なコミュニケーション能力を養う指導を心がけている。
- ・基礎的・基本的事項が十分定着していないため、より充実感の味わえる表現活動につながらない。
- ・実践的で意味のある言語活動を行う中で、基礎的・基本的な事項の定着が図られるような活動を仕組むことが必要である。

高等学校

- ・まとまった文章の読み取りや、文法事項や語彙の習得に向けての取組は着実に行われており、生徒の学習習慣も定着している。
- ・意味のある自己表現活動を行い仲間同士で交流したりして、伝え合う喜びを味わえる言語活動は十分実践されているとは言えない。
- ・身に付いている読解能力や、文の生成能力を駆使して、自己表現したり、交流したりして伝え合う喜びを感じ得る言語活動を仕組む必要がある。

実践推進上大切にしていること、明らかにしたいこと

実践的コミュニケーション能力を育成する指導のあり方

- ・生徒が意欲的に取り組むことができ、個に応じた表現を引き出すことに重点を置いた言語活動の指導の在り方
- ・基礎的・基本的な事項が確実に定着し、自己表現等に運用できる喜びを味わえる言語活動の在り方

平成18年度の具体的取組内容

【中学校】

研究テーマ
 かかわり合い、相互理解を深めるコミュニケーション活動の在り方

指導計画の工夫

「聞く・話す」能力の育成を目指しつつ、そのために「読む」「書く」活動も効果的に位置付け、確かな基礎的・基本的能力を培う単元構成を工夫する。

意欲的に取り組める言語活動の工夫

自分の思いや、自分の身の回りにある実際のことを発信したり、交流したり、情報交換したりするコミュニケーション活動を設定するとともに、自分の学習の足跡を残し、伸びを自ら自覚できるよう工夫する。

基礎・基本の定着のための工夫

文法事項や語彙の着実な定着や、正確な英語の知識・理解が、より豊かな言語活動につながり、かかわり合いや相互理解を深めることにつながることを体感できるよう、活動の内容や少人数指導の在り方などを工夫する。

【高等学校】

研究テーマ
 自己表現に対するモチベーションを高める授業の在り方

指導計画の工夫

教科書題材の読解を中心としながら、単元を通してどのような力を身に付けさせていくのかを明確にした指導計画を工夫する。

意欲的に取り組める言語活動の工夫

読んだり、聞いたりしたことがらについて反応したり、自分の意見を述べ合って交流したりする活動を位置付けたり、教科書以外のより今日的な題材で生徒の興味を喚起する教材を工夫する。

基礎・基本の定着のための工夫

語彙を増やしたり、文型・文法事項を身に付けていく過程において、適切な場面で適切に運用できることを実感できるような場を設定し、そうした学習がより豊かなコミュニケーションにつながることを体感できる活動を仕組む。